



校訓

なかよく かしく たくましく

ちがいを豊かさに 自分に夢と自信を

令和5年5月1日 第2号 文責 梶原 圭一



子どもたちに育てたい資質・能力について

5月8日(月)より、新型コロナウイルス感染症も5類相当の対応をすることに決まりました。学校としても、インフルエンザ等の感染症と同様の対応をすることになります。多くの教育活動の制限が緩和され、これからは3年間で思うように進められなかった子供たちや保護者の方々、そして地域の方々との「つながり」を大切にしたい学校経営に取り組んでいきたいと思ひます。

令和5年度の学校教育目標の実現に向け、子供たちに育てたい資質・能力として『**つながり合う力**』『**伝え合う力**』『**やり抜く力**』の3つを設定しました。具体的な子供たちの姿としては、以下の通りです。

つながり合う力

互いのちがいを認め合い、
つながり合うことができる
子ども

伝え合う力

気持ちのよいあいさつと自
分の思いや考えを伝えるこ
とができる子ども

やり抜く力

目標に向かって最後まで
あきらめずにやり抜く
子ども

3年間のコロナ禍を振り返ると、マスク着用が日常化し、子どもだけでなく、大人同士も表情の見えにくい生活が続きました。また、会話は距離をとりながら小さな声で行うこと、給食は黙食すること、リモートによる集会活動、リスクレベルに合わせて合唱や合奏を制限すること等、人と人との心のつながりが築きにくい状況でした。そういった意味からも、令和5年度は、「つながりを築き直す年」にしていきたいと考えています。子どもたちは、一人一人が素晴らしいよさを持っています。子どもたち同士が友達のよさを見つめ、その素晴らしさに学びながらつながり合うことができる教育活動を進めていきます。また、日々のあいさつをはじめ、友達同士の対話もままならない学校生活が続いていました。自分の思いや考えをきちんと言葉にして伝えることから、人と人とのコミュニケーションが成り立っていき、子どもたちの可能性も広がっていくでしょう。そのような意味からも、対話を重視した学習活動を通して、伝え合う力を磨いていきたいと考えています。さらに、目標を達成するためには、多少うまくいかないことがあったとしても、最後までやり抜く粘り強さが必要です。子どもたちが頑張っている過程を全職員で認め、ほめ、励ましながら、「やればできる」という自信をもたせていきたいと思ひます。

これらの力を子どもたち一人一人が身に付けていくためには、保護者の皆様の本校教育活動に対するご理解とご協力が必要です。よろしくお願いいたします。

頼もしい児童会スローガンが決まりました！

子どもたちが「この武蔵ヶ丘小で学んでよかった」とスクールプライドを感じてもらうためには、児童会の主体的な活動が重要だと考えています。

先日、本年度の児童会のスローガンが決まりました。学校教育目標の実現に向けて、本年度の重点目標として掲げた「ともに(共に)学び、ともに(友に)学ぶ」の言葉をスローガンに入れてくれたことを、大変うれしく思ひます。今年は、創立50周年を迎えます。子どもたちが将来、この記念すべき年によりよい学校を目指して頑張ったと、胸を張って自慢できるよう、それぞれの活動を見守り、支援していきたいと思ひます。



<大型連休を迎えるに当たって>

子どもも大人も楽しみにしている大型連休がやってきます。交通事故や水難事故等に十分注意し、自分の命を大切にするとともに、他者の命を大切にしながら、有意義に過ごしてほしいと願っています。